

LGBTについて考えよう!

～日本とアメリカの取り組み方の違い～

講師：駐大阪・神戸アメリカ総領事館 アダム・ベンツ副領事
日時：7月30日（水） 19：00 開始～21：00 まで
場所：宍粟防災センター 5F

講師紹介

アダム・ベンツ副領事(Adam Benz, Vice Consul)
米国国務省外交官。2014年5月駐大阪・神戸米国総領事館に副領事として着任。来日前はメキシコやブラジルに勤務。入省以前はアメリカン・インディアンの法律を専門とする弁護士としてワシントンDCに在住。

LGBTという言葉聞いた事がありますか？

『LGBT』という言葉聞いた事がありますか？

レズビアン(女性に惹かれる女性)、ゲイ(男性に惹かれる男性)、バイ・セクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(性同一性障害)の頭文字を取った総称です。

最近では新聞やニュースでも取り上げられるようになり、よくこの言葉を耳にします。しかしまだ人々の認識は薄く、間違った情報だけが先走り、差別や偏見をうんでいます。そして、たくさん問題があります。

同性婚、教育の現場での対応、性同一性障害に関して、戸籍への記載の問題。

当事者からすれば、**ただ同じ様に生きて行きたいだけなのに、それができない。当たり前なことを当たり前でできない。** といった理不尽な思いを強いられています。



日本の古い法律、古い考えなどを改め、多様な性を認め、いろんな『家族のかたち』を受け入れていける国になってほしい!

この宍粟市でもきちんとした知識を身につけ、当事者と言われる人たちへの対処、接し方を学び活かして頂きたいと思います。

アメリカの対応は？

そこで、アメリカではLGBTに対してどんな対応がとられているのか。

日本とアメリカの違いから、LGBTを考えて行きたいと思います。

オバマ政権は毎年6月をLGBTプライド 月間としています。オバマ政権は、一期目に「LGBTの問題は人権問題」という方針を外交上鮮明にしました。そして昨年アメリカ大統領選では、オバマ大統領自身が同性婚への支持を明確にしました。

今回は、駐大阪・神戸アメリカ総領事館 アダム・ベンツ副領事をお招きし、LGBTとは何か？

求められる対応は何か？LGBTを取り巻く現状は？等アメリカ視点からのアドバイス、レクチャーをして頂きます。

※ LGBTとは？ ※

L(Lesbian)
(レズビアン)

女性の同性愛者

G(Gay)
(ゲイ)

男性の同性愛者

B(Bisexual)
(バイセクシュアル)

両性愛

T(Transgender)
(トランスジェンダー)

性同一性障害者
～生まれた時の法的・社会的性別とは違う性別で生きる人、生きたいと望む人